

# 日本優勝



〒030-0180  
青森市第二問屋町3丁目1番89号  
東奥日報社  
電話 017-739-1111  
(C)東奥日報社 2006

インターネット  
号外



キューバを破りWBCで優勝、胴上げされる王監督(共同)

# WBC初代王者に

ご購入のお問い合わせは  
東奥日報社販売局



0120-146-5939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

▽決勝	日本	400	020	004	10
	キューバ	100	002	021	6
	(日)松坂、渡辺俊、藤田、大塚一里崎				
	(キ)ロメロ、オテリン、N・ゴンサレス、Y・ペドロ				
	ソ、パルマ、マヤ、Y・ゴンサレス、マルティネス				
	ペスタノ				
	▽本塁打		パレ、セペダ	(キ)	

【サンディエゴ(米カリフォルニア州)20日共同】米大リーグの選手が本格的に参加して初めて開催された野球の世界・ベースボール・クラシック(WBC)は二十日(日本時間二十一日)、サンディエゴのペトコ・パークで決勝を行い、王貞治監督(ソフトバンク)が率いる日本は10-6でアテネ五輪優勝のキューバを破り、初代世界一の座に就いた。

参加16カ国・地域の頂点

をかけた試合は、準決勝で韓国を破って波に乗る日本が一回に押し出し死四球や今江敏晃内野手(ロッテ)の適時打で4点を先取。五回にはイチロー外野手(マリナーズ)の二塁打を口火に2点を加えた。アマチュア最強のキューバに1点差まで追い上げられたが、九回にイチロー、代打福留孝介外野手(中日)の適時打などで4点を追加し、振り切った。

詳細は朝刊で